

令和3年度 トラック運送事業者と取引のある事業主（荷主）と
トラック運送事業者への説明会

議 事 次 第

令和4年1月24日（月）

14:00～16:00

文化館 なの花ホール

1. 開 会

2. 議 題

(1) 「働き方改革関連法」等について（山形労働局）

(2) 「ホワイト物流推進運動」について（東北運輸局）

（途中休憩）

(3) 「トラック運送事業の標準的な運賃」について（山形運輸支局）

(4) 「取引環境と長時間労働改善に向けたガイドライン」及び
適正な運賃收受について（山形運輸支局）

3. 閉 会

【配付資料】

1. 「働き方改革関連法等」について
2. 「ホワイト物流」推進運動について
3. トラック運送事業の標準的な運賃について
4. 「取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」について
5. 貨物自動車運送事業者の適正な運賃收受について
6. アンケート調査票

「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」について

令和4年1月

東北運輸局山形運輸支局

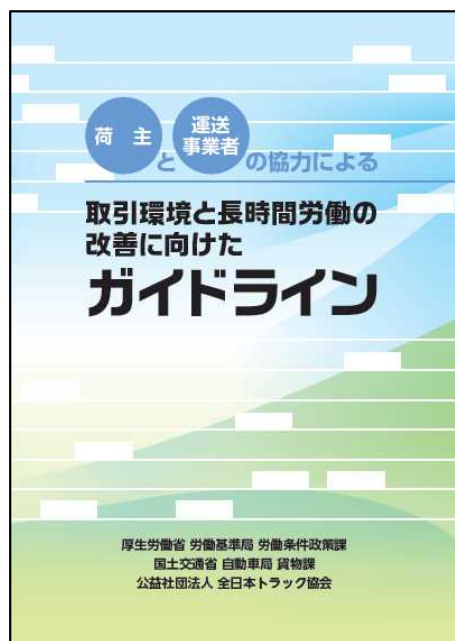
はじめに(ガイドライン策定の経緯)

物流は、経済活動や国民生活を支える重要な社会インフラです。

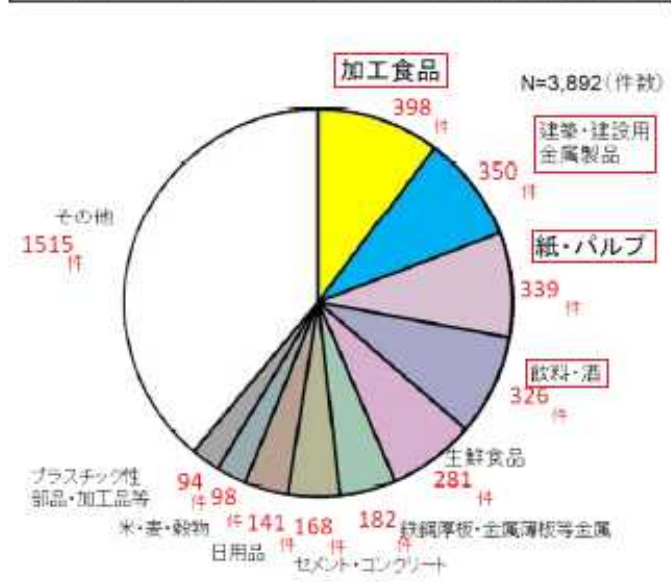
しかし、一方で慢性的な労働力不足や、トラックドライバーの長時間労働の実態など、物流を取り巻く環境は、非常に厳しい状況にあります。

また、令和6年度からトラックドライバーに適用される時間外労働の上限規制も踏まえると、物流の効率化に向けた取組は、喫緊に対応しなければならない重要な課題です。

そこで、調査の結果、荷待ち時間の件数が特に多かった輸送分野（加工食品、飲料・酒、建設資材、紙・パルプ）について、それぞれ「物流における生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する懇談会」を開催し、それぞれの輸送分野特有の課題の洗い出しや、解決方策の検討を行った成果として、「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」を取りまとめております。



30分以上の荷待ち時間が生じた件数(輸送品目別)



改善に向けたステップ

ステップ 1 荷主とトラック運送事業者の双方で、トラックドライバーの労働条件改善の問題意識を共有し、検討の場を設ける

ステップ 2 労働時間、特に荷待ち時間や荷役時間の実態を把握する

ステップ 3 荷待ち時間の発生等、長時間労働の原因を検討、把握する

ステップ 4 荷主とトラック運送事業者の双方で、業務内容を見直し改善に取り組む

ステップ 5 荷主とトラック運送事業者間での応分の費用負担を検討する

ステップ 6 改善の成果を測定するための指標を設定する

ステップ 7 指標の達成状況を確認、評価することでさらなる改善に取り組む

取引環境と長時間労働の改善

取組みの具体的なイメージと流れ

ステップごとの取組みの具体的なイメージと流れ

ステップ1 問題意識を共有する場の設置

輸送にかかわる関係者が**全員集まる**のが理想!

イラスト: トラックドライバーとスタッフが会議室で話し合っている様子。背景には「ドライバーの労働条件の改善」というポスターが掲示されている。

ステップ2 労働時間、特に荷待ち時間や荷役時間の把握

拘束時間(運転時間、荷待ち時間、荷役時間等)の実態をきちんと**数字で把握**する!

積回数	卸回数	始業	終業	運転時間	荷待ち時間	積込時間	取卸時間	休憩時間	拘束時間	休息時間	
○月○日	2	1	7:00	23:30	6:20	4:15	2:15	1:30	2:10	16:30	8:00
○月○日	3	1	7:30	23:45	7:00	3:45	2:40	1:10	2:00	16:35	7:45
○月×日											

ステップ3 長時間労働の原因を把握 (例えば荷待ちや荷役発生の原因など)

荷待ちや荷役時間が原因で拘束時間が長い場合
「なぜ荷待ちが起きるか」
「なぜ荷役に時間がかかるか」
 を把握する

イラスト: トラックの運転席に座るドライバー。時計の針が回っており、「荷待ち時間が…」と表示されている。

ステップ4 業務内容を見直し、改善に取り組む

時間がかかっている**作業の内容を見直し**、改善への取組みを検討!

出荷前の荷揃えは?
手荷役作業?

イラスト: 倉庫内での作業風景。トラックの荷台に箱が積み込まれている様子。フォークリフトが作業中。

ステップ5 応分の費用負担を検討

改善のための**費用負担**について関係者間で協議

イラスト: 2人の男性が机を挟んで書類を見ながら話し合っている様子。

ステップ6 成果測定のための指標を設定

できるだけ具体的な**数値で目標を設定!**

荷待ち時間	拘束時間	休息期間
4:15	16:30	8:00
3:45	16:35	7:45
...
30分以内	13時間以内	8時間以上

イラスト: トラックを運転するドライバー。目標値を示すアイコンが並んでいる。

ステップ7 目標数値と実績値を比較・検証、さらなる改善へ!

各ガイドラインの構成

【まえがき】

● ガイドライン策定の経緯・位置づけ・トラック運送事業の現状

- (1) 今後のトラック運送事業の見通し、(2) トラック運送事業を取り巻く制度面の変遷、(3) トラック運送事業の健全な発展に向けて

● ガイドライン策定の経緯とトラック運送事業の現状

- (1) 今後のトラック運送事業の見通し、(2) トラック運送事業を取り巻く制度面の変遷、(3) トラック運送事業の健全な発展に向けて

● ガイドライン策定の経緯とトラック運送事業の現状

- (1) 今後のトラック運送事業の見通し、(2) トラック運送事業を取り巻く制度面の変遷、(3) トラック運送事業の健全な発展に向けて

● ガイドライン策定の経緯とトラック運送事業の現状

- (1) 今後のトラック運送事業の見通し、(2) トラック運送事業を取り巻く制度面の変遷、(3) トラック運送事業の健全な発展に向けて

【本編】

- 現状と課題、現状のボトルネックの把握方法
- 取引環境と長時間労働の改善に向けた具体的な取組み事例等

- 建設資材物流における現状・課題、解決の方向性の整理
- 取引環境と長時間労働の改善に向けた具体的な取組み事例等

- 紙・パルプ（洋紙・板紙分野）物流における現状・課題、解決の方向性の整理
- 取引環境と長時間労働の改善に向けた具体的な取組み事例等

- 紙・パルプ（家庭紙分野）物流における現状・課題、解決の方向性の整理
- 取引環境と長時間労働の改善に向けた具体的な取組み事例等

【あしがき】

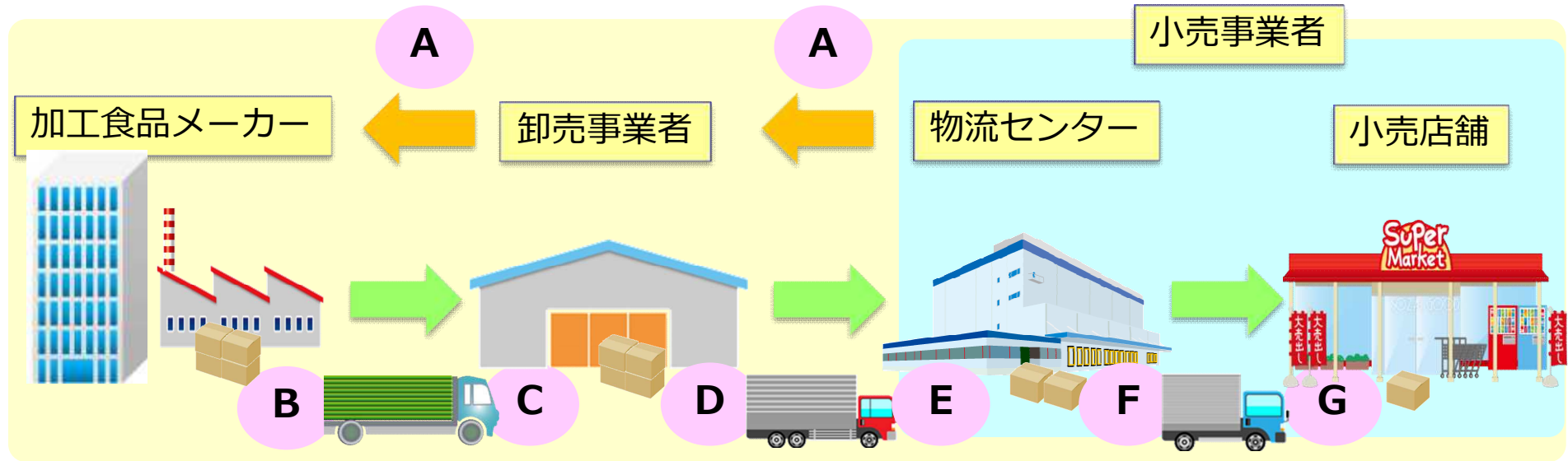
- 加工食品、飲料・酒分野における今後の取組みの方向性

- 建設資材物流における今後の取組みの方向性
- おわりに（サプライチェーン関係者へのメッセージ）

- 紙・パルプ（洋紙・板紙分野）物流における今後の取組みの方向性
- おわりに（サプライチェーン関係者へのメッセージ）

- 紙・パルプ（家庭紙分野）物流における今後の取組みの方向性
- おわりに（サプライチェーン関係者へのメッセージ）

加工食品物流の課題の発生個所



発生個所 A・B・D

【小売・卸発注時、メーカー・卸出荷時】

- ・発注から短期間での納品、特定の日に物量が集中
⇒ **【受発注条件の見直し】**

発生個所 C・E・G

【卸・物流センター・小売店舗荷卸し時】

- ・荷卸し場所の処理能力や車両集中に起因する待ち時間の発生
⇒ **【荷待ち時間の削減】**

発生個所 B・C・D・E

【メーカー・卸荷積み時、卸・物流センター荷卸し時】

- ・荷積み・荷卸し時に長時間の荷役作業が発生
⇒ **【荷役時間の削減】**

発生個所 C・E・G

【卸・物流センター・小売店舗荷卸し時】

- ・業界の慣習や目視等による長時間の検品作業
⇒ **【検品時間の削減】**

【加工食品物流における課題の特徴】

- 加工食品物流においては、業界慣習である 1 / 3ルール や 年月日表示された賞味期限情報、統一されていない伝票情報の手入力 等により、検品に要する時間が長くなり、トラックドライバーの労働時間が長くなる要因 となっている。
- また、即席麺やお菓子等、パレット化されずバラ積みとなっている商品も多く、パレット化されていても パレットのサイズや段ボールサイズが様々 であり、手積み・手卸し等で 長時間の荷役作業が発生し、トラックドライバーの労働時間が長くなる要因 となっている。

主な対応策**◆ 納品期限の緩和や賞味期限の年月表示化を推進**

→ 大手スーパー、コンビニを中心に見直しが進んでいる状況。更なる取組企業や品目の拡大を図る。

◆ QRコードの活用による検品時間の削減

→ 紙伝票を電子化してQRコードからクラウド上の電子伝票を読み込む形式にするとともに、荷の外装にもQRコードを貼り付け、着側での検品時間を削減する実証実験を実施。(800箱の運送で約40分の検品時間を削減するとともに、紙伝票の取扱いに係る年間約1,500万円のコスト削減効果)

**◆ パレットサイズや外装サイズの統一、外装表示の標準化**

→ 加工食品物流において主流となっているT11型(1,100mm×1,100mm)及びT12型(1,200mm×1,000mm)のパレットの推奨や、これらのパレットに積載することを念頭に置いた外装サイズの見直し、外装表示の内容や位置の統一等について、加工食品分野における物流標準化アクションプラン (https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000500.html) を策定。

今後の取組の方向性

- 事前出荷情報の提供と伝票情報の電子化等を組み合わせるなど、検品レスの実現に向けた取組を推進。
- 物流標準化アクションプランに沿った外装サイズや表示等の 標準化を推進し、荷役時間の削減を図る。

建設資材物流における課題の発生箇所

課題①: 荷待ち時間の発生
⇒【対応策】工事現場の進捗状況等の情報共有

課題②: 発注期限が守られない場合がある
⇒【対応策】リードタイムの確保

課題③: ドライバーが附帯作業を実施
⇒【対応策】附帯作業の軽減

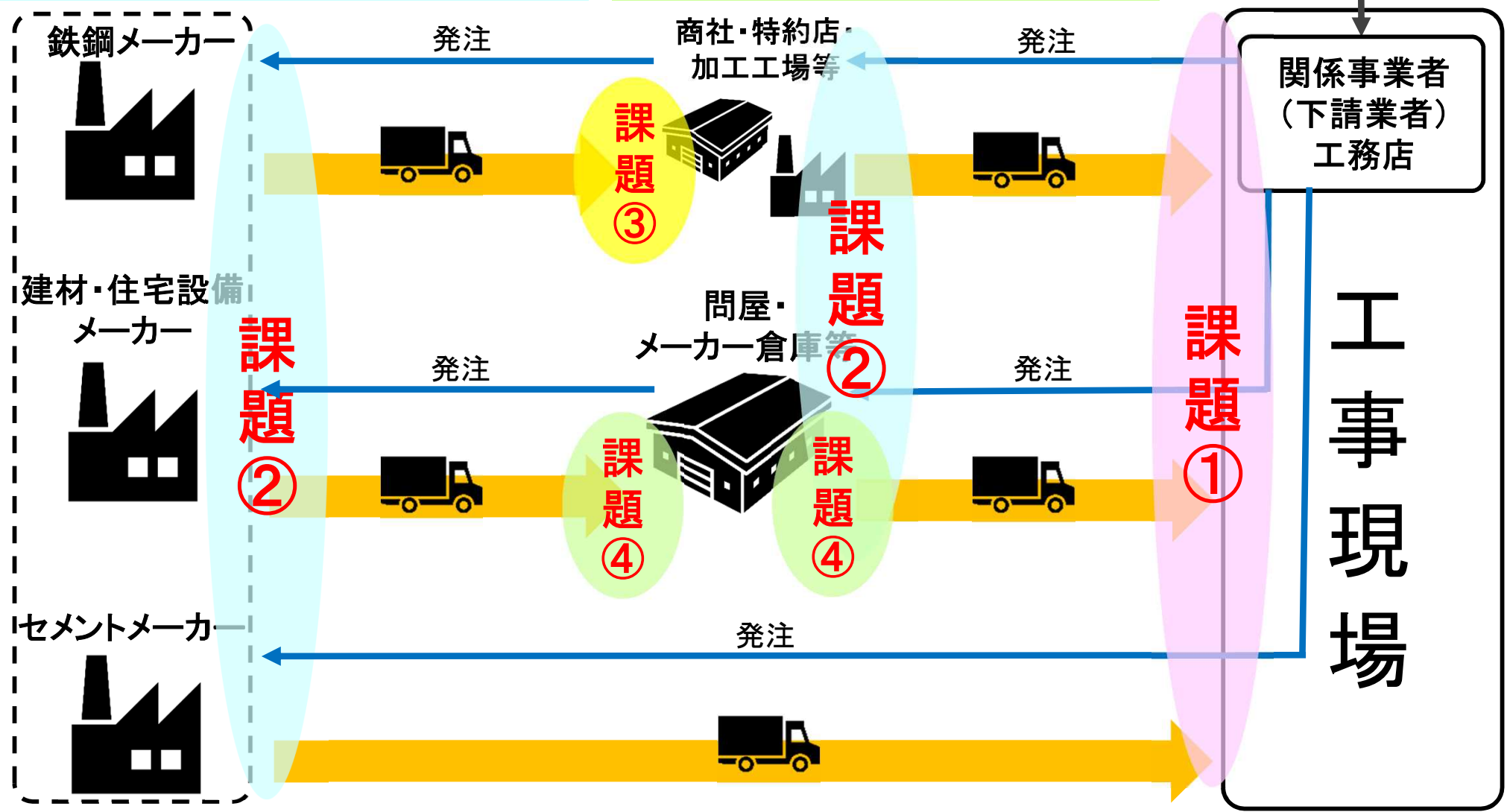
課題④: 検品・仕分作業に時間がかかる
⇒【対応策】検品・仕分作業の効率化

ゼネコン・ハウス
メーカー(元請業者)

施工管理

関係事業者
(下請業者)
工務店

工事現場



【建設資材物流における課題の特徴】

- 工事現場には非常に多くの下請業者に紐づいた建設資材が工事の進捗状況に応じて搬入されているが、天候や道路事情等により当初の搬入計画どおりに運用が進まなくなると、限られた荷卸しスペースにトラックが集中し、荷待ち時間が発生している。
- 建設資材は多品種であり、かつ、邸別・部屋別など物件ごとに搬入される製品が異なるため、出荷時・納品時の作業が複雑化・長時間化しており、トラックドライバーの荷待ち時間につながっている。
- 上記課題の解決の手段として、ICTの活用があまり進んでいない。

主な対応策

◆ 課題①: 荷待ち時間の発生

◆ 課題②: 発注期限が守られない場合がある

→ 元請業者と下請業者との連携による情報の共有が必要

前日の作業間連絡調整会議の段取りをアナログな方法から、**WEBクラウドを活用したデジタルな方法に移行し、円滑な情報共有を推進する。**

段取りの際、トラックの入退場が輻輳しないよう、**入力ルールを精緻化する必要。**

→ 発着荷主間で十分協議を行うとともに発注予定を共有化し、リードタイムの緩和や受注量の平準化に取り組む。

◆ 課題③: ドライバーが附帯作業を実施

→ 納品条件は**車上渡しを基本とし**、着荷主側で専門の荷役作業員を配置させ、トラックの運行効率を向上させる荷役分離を進め、それでも**ドライバーが実施しなければならない場合は、書面で料金化するようルール化する。**

◆ 課題④: 検品・仕分作業に時間がかかる

→ 複数の建設資材製造業、卸、ユーザーが一貫して活用できる**仕様等が標準化されたコード体系を導入する。**

入出荷の検品作業等を**目視から電子化**することで、業務を効率化する。



今後の取組の方向性

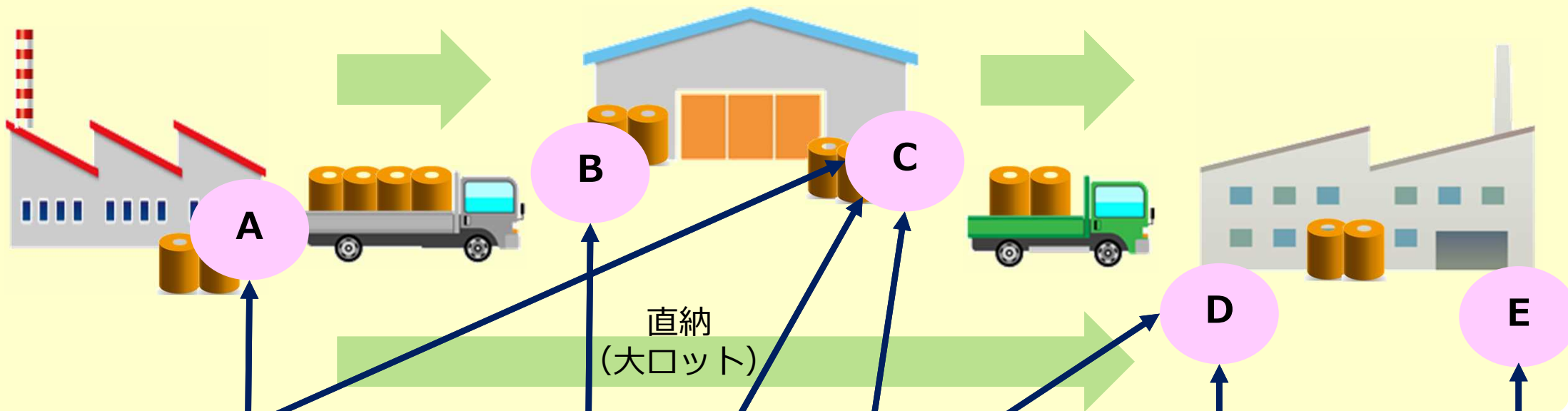
- 荷主の配慮義務を踏まえた建設業の取引適正化の取組みの推進 ⇒ 元請業者による物流へのマネジメントの強化
- ICTの活用による情報の共有化の推進 ⇒ 伝票情報や物流情報を現場が容易にアクセスできる環境整備を促進
- 附帯作業の軽減 ⇒ 車上渡しを原則としつつ、役割分担を整理し、納品条件を明確化

紙・パルプ(洋紙・板紙分野)物流の課題の発生個所

製紙メーカー

代理店・卸商・倉庫

印刷工場等



発生個所 A・C

【代理店・卸商出荷時】

- ・発注期限が守られない一方、納品時間指定が厳しい

⇒ **課題 1**

【リードタイムの確保】

発生個所 B・C・D

【代理店等・印刷工場等荷卸し時】

- ・車両集中による出荷・荷卸し待ち時間の発生

⇒ **課題 3 【荷待ち時間の削減】**

発生個所 C

【代理店・卸商出荷時】

- ・小ロットによる配送効率の低下

⇒ **課題 2**

【少量多頻度納品の効率化】

発生個所 D

【印刷工場等荷卸し時】

- ・契約外の荷卸し作業等が発生

⇒ **課題 4**

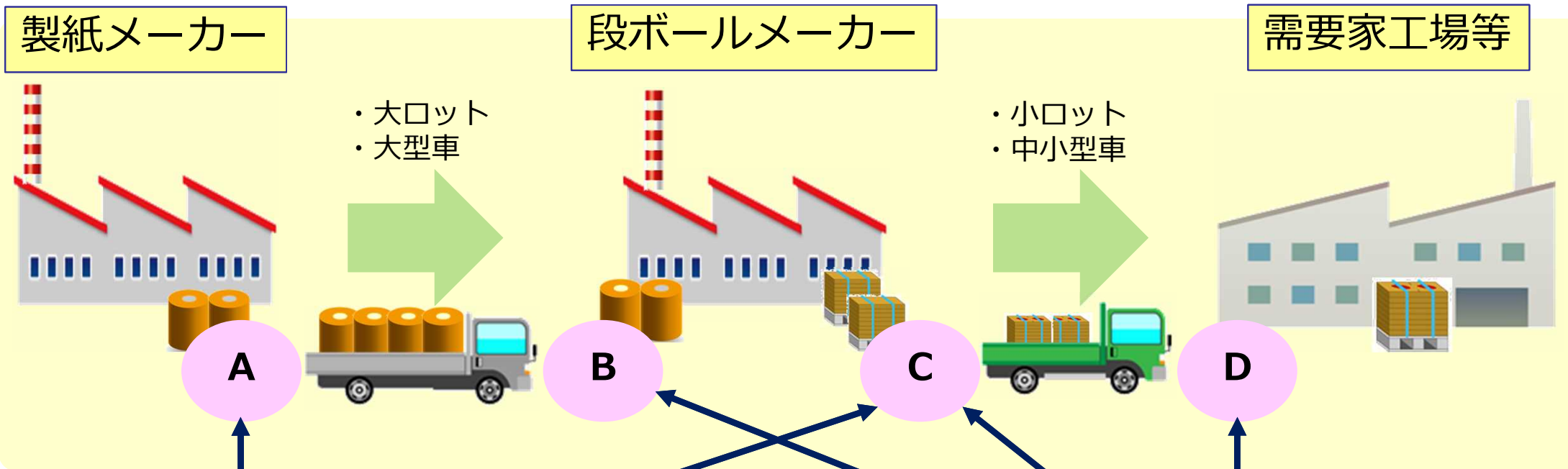
【附帯作業の軽減】

発生個所 E 【印刷工場等出荷時】

- ・特定の日・曜日に物量が集中

⇒ **課題 5 【繁忙差の平準化】**

紙・パルプ(段ボール分野)物流の課題の発生個所



発生個所 A・C 【各所出荷時】

- ・発注期限が守られない一方、納品時間指定が厳しい
- ・小ロットによる配送効率の低下

⇒ **課題6 【リードタイムの確保及び少量多頻度納品の効率化】**

発生個所 B・C・D 【各所出荷・荷卸し時】

- ・車両集中による出荷・荷卸し待ち時間の発生

⇒ **課題3 【荷待ち時間の削減】**

- ・契約外の荷卸し作業などが発生

⇒ **課題4 【附带作業の軽減】**

【洋紙・板紙物流における課題の特徴】

- 書籍、雑誌等や段ボールに使用される紙は技術開発の要素が少なく、他社との商品による差別化が難しいことから、商品以外の部分（リードタイムや納品方法等）での競争が行われてきた結果として、不十分なリードタイムでの発注や少量多頻度納品といった商習慣が定着し、これが運送事業者やドライバーの負担増につながっている。

主な対応策

◆ 課題1 【リードタイムの確保】

→発着荷主の受発注プロセスを共有化するなど、関係者間で十分協議することが重要。また、受発注締切期限を厳格に運用する。

◆ 課題2 【少量多頻度納品の効率化】

→物量の平準化、共同輸送の実施、納品場所、納品回数等の集約などで効率化を図っていく。

◆ 課題3 【荷待ち時間の削減】

→**予約受付システム**の運用など、車両集中の分散化手法を実施する。

◆ 課題4 【附帯作業の軽減】

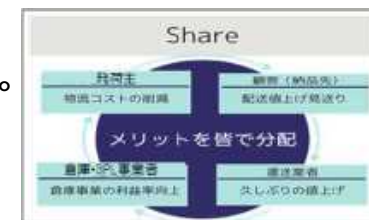
→発着荷主は契約書面に納品時の附帯作業の内容や実施者等について明記する。**パレット納品**を可能とするため、導入課題を協議する。

◆ 課題5 【繁閑差の平準化】

→平準化が**関係者全体のメリットにつながる**と認識し、週単位、日単位など波動の分散化を関係者で協議する。

◆ 課題6 【リードタイムの確保及び少量多頻度納品の効率化】

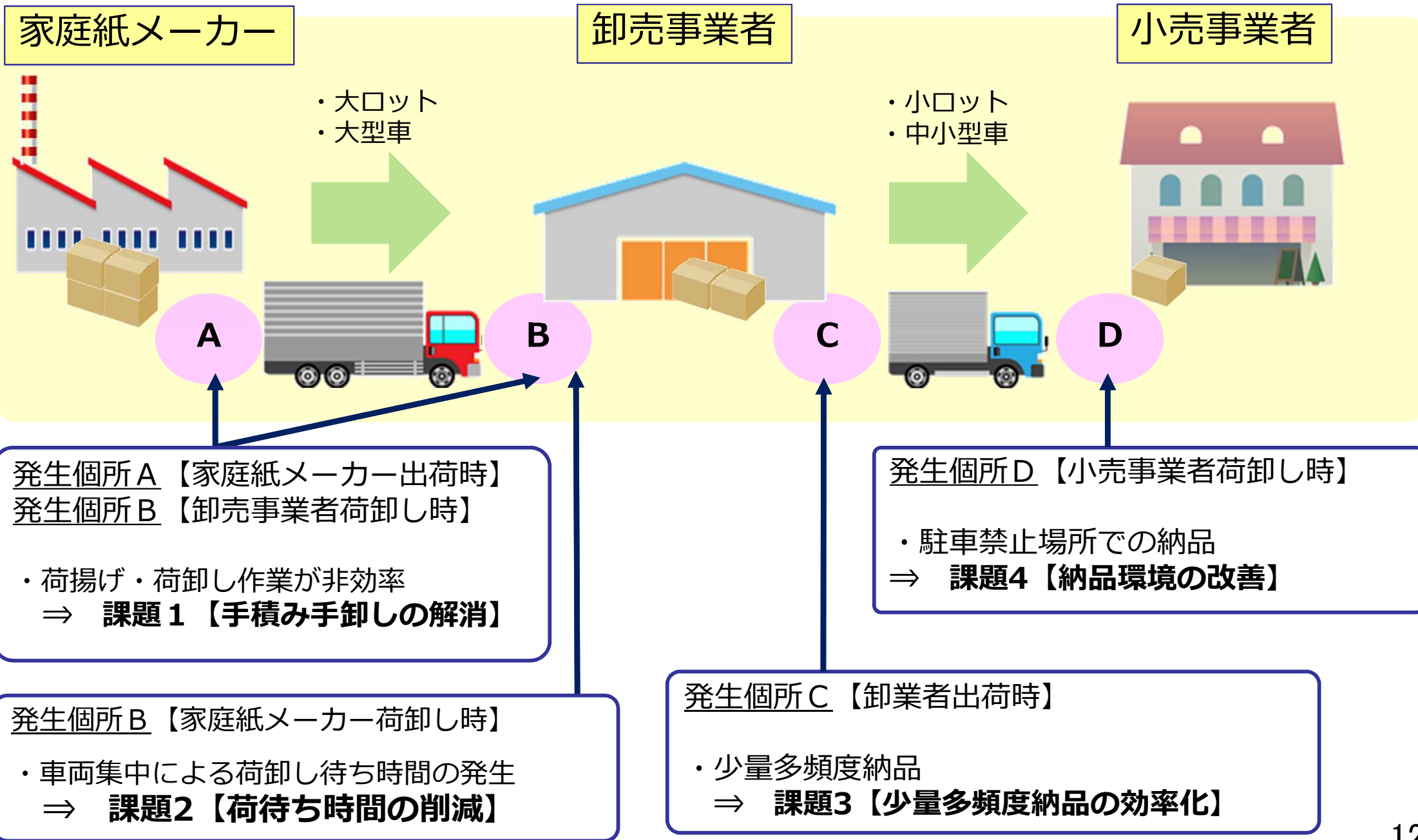
→**十分なリードタイム**のもと、**発注者の製造計画を共有**し納品計画を事前に調整するなど効率化を図る。



今後の取組の方向性

- サプライチェーンにおける物流コストの適正な負担⇒ **物量が減少していく**と予想される中、関係者間で**適正な負担を協議**すべき
- 共同保管及び共同配送の実現に向けて⇒ サプライチェーン全体の効率化を考慮した**メーカー共同倉庫の設置**等を検討
- 十分なリードタイムの確保の必要性⇒ 洋紙・板紙の**需要家のサプライチェーン(出版・広告等)**とも**協力関係を構築**していく必要
- 附帯作業の軽減⇒ 役割分担の明確による取引条件等の見直しとともに、危険が伴う作業(俵二段積み等)については機械化を促進
- 物量の平準化⇒ サプライチェーン全体で平準化を図るため、物量が多く特定の日に集中する**雑誌の発売日の分散化**等を実現
- 段ボール分野の方向性⇒ ①少量多頻度輸送及びリードタイムの改善、②薄型段ボールへの転換、③ユニットロードの標準化を注力

紙・パルプ(家庭紙分野)物流の課題の発生個所



【家庭紙物流における課題の特徴】

- 家庭紙製品は単価が安いいため、メーカーと卸売業者との間の幹線輸送においては、新たな設備投資コストを価格に転嫁しづらい中で、パレット化等の物流効率化に向けた取組みを進めていかななくてはならない状況にある。
- また、家庭紙製品は嵩張るため、規模の小さい小売店舗においては在庫を持つことができず、日々必要数量を配送する少量多頻度納品となっており、単価が安い(=運賃が安い)ことと相まって、運送事業者の経営を圧迫している。

主な対応策

◆ 課題1【手積み手卸しの解消】

- **手積み手卸しの解消のため、パレット化の取組を実施**する。
10トン・トラックの場合、積み卸し作業に2時間程度かかっており、ドライバーの長時間労働につながっている他、長時間バースを占拠することにより、他のトラックの荷待ち時間の長時間化にもつながっている。



◆ 課題2【荷待ち時間の削減】

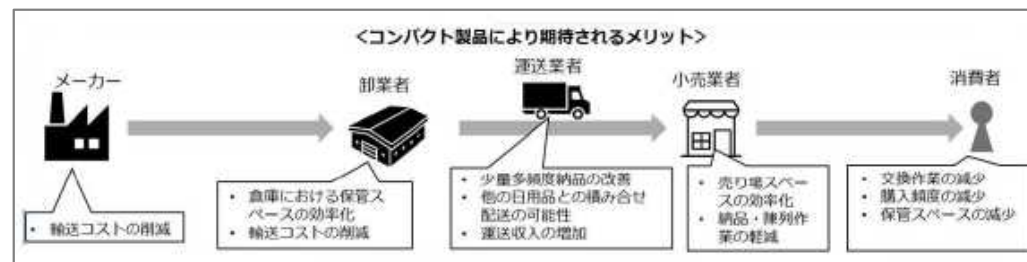
- **予約受付システム**の運用など、車両集中の分散化手法を実施する。
- 繁閑差を平準化する取組を進めるため、着荷主の発注見込み量を把握した上、発着荷主が納品計画を協議する。

◆ 課題3【少量多頻度納品の効率化】

- 物流の負荷を軽減させる**コンパクト製品**への切替を、サプライチェーン全体で実施する。

◆ 課題4【納品環境の改善】

- 小売店舗の駐車場の共同利用や商店街の共同集配送など、先進事例を参考に都市内物流の納品環境の改善を実施する。



今後の取組の方向性

- サプライチェーンにおける物流コストの適正な負担⇒ 持続可能な物流体制を構築していくため、関係者間で**適正な負担を協議**すべき
- パレット化の早急な促進⇒ 「**手積み・手卸しを解消する**」ということを共通認識として、更なる取組を促進
- コンパクト製品の普及促進⇒ 消費者へ製品メリットの積極的な周知を行い、サプライチェーン全体で検討を継続
- 小売店舗への配送方法の改善⇒ 都市内物流の効率化に向け、さらなる関係者が連携した取組を促進

物流ガイドラインの掲載先について

【本体】

- 荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン
<https://www.mlit.go.jp/jidosha/content/001428590.pdf>

【事例集】

- 表紙・インデックス・農・水産品 <https://www.mlit.go.jp/common/001259854.pdf>
- 金属機械工業品(1) <https://www.mlit.go.jp/common/001259876.pdf>
- 金属機械工業品(2) <https://www.mlit.go.jp/common/001259877.pdf>
- 金属機械工業品(3) <https://www.mlit.go.jp/common/001259878.pdf>
- 化学工業品 <https://www.mlit.go.jp/common/001259879.pdf>
- 軽工業品(1) <https://www.mlit.go.jp/common/001259880.pdf>
- 軽工業品(2) <https://www.mlit.go.jp/common/001259881.pdf>
- 雑工業品 <https://www.mlit.go.jp/common/001260239.pdf>

物流ガイドラインの掲載先について

○ 加工食品、飲料・酒物流編

https://www.mlit.go.jp/jidosha/content/_210416_guideline.pdf



○ 建設資材物流編

<https://www.mlit.go.jp/jidosha/content/001346880.pdf>



○ 紙・パルプ（洋紙・板紙）物流編

<https://www.mlit.go.jp/jidosha/content/001346876.pdf>



○ 紙・パルプ（家庭紙）物流編

<https://www.mlit.go.jp/jidosha/content/001346879.pdf>



「物流改善に向けたガイドラインセミナー」のご案内

無料 荷主と運送事業者の協力による 取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドラインセミナー

物流は、経済活動や国民生活を支える重要な社会インフラです。
しかし、一方で慢性的な労働力不足や、トラックドライバーの長時間労働の実態など、物流を取り巻く環境は、非常に厳しい状況にあります。
また、令和6年度からトラックドライバーに適用される時間外労働の上限規制も踏まえると、物流の効率化に向けた取組は、喫緊に対応しなければならない重要な課題です。
そこで、調査の結果、荷待ち時間の件数が特に多かった輸送分野（加工食品、飲料・酒、建設資材、紙・パルプ）について、それぞれ「物流における生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する懇談会」を開催し、それぞれの輸送分野特有の課題の洗い出しや、解決策の検討を行った成果として、「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」を取りまとめました。
このガイドラインを周知するセミナーを開催します。 [開催日・開催会場は、裏面参照]

セミナープログラム(予定) 主催者：国土交通省

PART1 最近の物流政策について
最近の物流政策について発表。 国土交通省

PART2 SIPスマート物流サービス概要紹介
内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP) スマート物流サービス担当 プログラムディレクター

**PART3 荷主と運送事業者の協力による
取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドラインの説明**
「加工食品、飲料・酒」「紙・パルプ(洋紙・板紙分野)」「紙・パルプ(家庭紙分野)」「建設資材」の 富士通総研
いずれかをご説明。日程は裏面をご覧ください。

PART4 取組事例の発表
先進的な取組をされた事業者が、苦労談も交え発表。 先進的な取組をした事業者
※セミナープログラム終了後、質疑応答を行う時間を20分程度設けます。

お申込み インターネットでの申込みとなります

本セミナーの事務局である株式会社 富士通総研のホームページから、お申込みください。

●お申込みURL：
<https://www.fujitsu.com/jp/group/fri/resources/events/other/guideline-seminar.html>

富士通総研ホームページからのお申込みの流れ
①セミナー日程一覧から、希望する日程の「申込ボタン」を押して下さい。
②申し込みページに必要事項を入力し、「送信ボタン」を押して下さい。
③入力いただいたメールアドレス宛に、参加受付メールを送信いたします。
※メールが届かない場合は、下記事務局宛、お問合せ下さい。



●注意事項：
参加方法などは、セミナー開催日前日までに、受講者の方へご案内いたします

ご不明な点がございましたら、下記お問い合わせ窓口へ、ご連絡下さい。

事務局：株式会社 富士通総研
担当者：沖原 亀廻井(かめのい) 田村
電話：03-6424-6754
メール：fri-guideline@dl.jp.fujitsu.com

無料 荷主と運送事業者の協力による 取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドラインセミナー

セミナー開催日程

建設 資材	令和3年12月9日(木) 13:00~15:10 12:30 会場オープン	取組事例 講演企業情報 ●タイトル調整中 大成建設株式会社 ●LIXILにおける建材ホワイト物流化への取り組み 株式会社LIXIL物流
	開催終了	
加工食品、 飲料・酒	令和4年1月28日(金) 13:00~15:10 12:30 会場オープン	取組事例 講演企業情報 ●空気は運ばない！ ～異業種共同輸送による未来の物流のカチ～ アサヒ飲料株式会社 ●～持続可能な加工食品物流に向けて～ 簡易な検品レスの取組み キュービー株式会社
紙・パルプ 家庭紙 分野	令和4年2月1日(火) 13:00~15:10 12:30 会場オープン	取組事例 講演企業情報 ●持続可能な輸送インフラの協創 家庭紙パレット共同利用研究会 (ユーピーアール株式会社)
紙・パルプ 洋紙・板紙 分野	令和4年2月18日(金) 13:00~15:10 12:30 会場オープン	取組事例 講演企業情報 ●サプライチェーンで取り組む配送効率化「バラちらし」 乾汽船株式会社 取組事例 講演企業情報 ●発着荷主協業による物流改善事例について レンゴー株式会社

- 開始30分前より、オンラインセミナー会場へお入りいただけます。
- 参加方法などは、セミナー開催日前日までに、受講者の方へご案内いたします



加工食品、飲料・酒
物流編



紙・パルプ(洋紙・板紙分野)
物流編



建設資材
物流編



紙・パルプ(家庭紙分野)
物流編